Chapter 1 章タイトル る?

基本コンセプト

- その言語の魅力、面白さを伝える
- 内容はガチでも、デザインは柔らか

XX-01 節タイトル - Enter The TypeScript or GoLang



●モジュールを利用する - h3中見出し

■datetimeクラスの利用 - h4小見出し

Chapter 4 でオリジナルの関数をまとめたモジュールを作りましたが、実は Python には、はじめから多数のモジュールが付属しています。これら**付属のモジュールを総称して「標準ライブラリ」と呼びます**。

標準ライブラリのモジュールを利用することで、プログラムでできることの範囲をさらに広げることができます。標準ライブラリは import 文でインポートするだけですぐに利用できます。

CODE chap5-3-1.py

```
from datetime import date, timedelta start = date(2018, 6, 18) ----コメントの先頭を中にすると引き出し線に for days in range(14): ----繰り返しの for 文 cur = start + timedelta(days=days) print(cur)
```

実行結果

2018/6/18 2018/6/18 2018/6/18 2018/6/18

Syntax import文の書式

from datetime import date, timedelta

モジュール名または パッケージ名 クラス名

複数のクラスをカンマ区切りで指定すると、まとめてインポートできます。



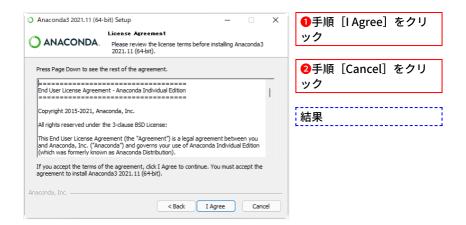
吹き出しを使って時々読者に語りかけ、ポイント、心構え、 注意点など、強調したい物事を伝えてください。

●2週間分の日付の一覧を作る

開始日から 2 週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2 週間分」のように複数のデータを作る場合、for 文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、date オブジェクトだけで 2 週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。 その月の最終日を越えた日付、たとえば 33 日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。 そこで、開始日の date オブジェクトを作り、そこに経過日数の timedelta オブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

標準ライブラリのモジュール(抜粋)

モジュール名	説明
csv	CSV ファイルの読み込みと書き込みを行う
datetime	日時を扱う
json	Web でよく用いられる JSON 形式のデータを扱う
math	三角関数など数値計算用の関数がまとめられている
pathlib	ファイルやフォルダの操作を行う
random	乱数(デタラメに見える数)を生成する
tkinter	GUI アプリケーションを作る
zipfile	ZIP 形式の圧縮ファイルを扱う



- 箇条書き
- 箇条書き
- 箇条書き
- 1. 番号付き箇条書き
- 2. 番号付き箇条書き
- 3. 番号付き箇条書き
- 4. 番号付き箇条書き

コラム: コラムタイトル

開始日から2週間分の日付を表示するプログラムを書いてみましょう。「2週間分」のように複数のデータを作る場合、for 文を使うことはすぐ思いつきます。ただし、date オブジェクトだけで2週間分の日付を作ろうとするとうまくいきません。その月の最終日を越えた日付、たとえば33日などを渡すと、バリューエラーが発生してしまうからです。そこで、開始日の date オブジェクトを作り、そこに経過日数のtimedelta オブジェクトを加えて目的の日付を作ります。

この章のまとめ



- 章の最後(節ではなく)にまとめを入れたいです。この章で説明したこと を、あとから見返す役に立つ内容を想定しています。
- ああああああああああああああああ
- ああああああああああああああああ
- ああああああああああああああああ
- ああああああああああああああああああ